

14
11.7.22

International Education

国際教育

第4号

千葉大学国際教育センター

2011年3月

『国際教育』第4号

(千葉大学国際教育センター紀要:2011 年3 月)

目次

佐藤尚子・馬場真知子・佐藤礼子・門倉正美・金井勇人・笠原（竹田）ゆう子 日韓共同理工系学部留学生に対する日本語グループワークの実践・・・	1
高民定 日本語学習者の「よ」「ね」「よね」について 一 日本語初級・中級教科書の機能分析を中心に・・・	11
林里香・佐藤尚子 サバイバル日本語の教材開発と授業実践・・・	25
見城 悌治 戦前期における千葉高等園芸学校の留学生とその動向・・・	43
金田章宏 書評「清水由美著『日本人の日本語しらず。』」・・・	77
執筆者一覧・編集後記・・・	81

『国際教育』第4号 執筆者一覧

佐藤 尚子	千葉大学 国際教育センター 准教授
馬場真知子	東京農工大学 国際センター 教授
佐藤 礼子	東京工業大学 留学生センター 准教授
門倉 正美	横浜国立大学 留学生センター 教授
金井 勇人	埼玉大学 国際交流センター 助教
笠原 (竹田) ゆう子	電気通信大学 国際交流センター 准教授
高 民定	千葉大学 文学部 准教授
林 里香	千葉大学 国際教育センター 非常勤講師
見城 悌治	千葉大学 国際教育センター 准教授
金田 章宏	千葉大学 国際教育センター 教授

.....

【編集後記】

2011年3月11日の東日本大震災によって、多くの尊い命が失われた。亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりのお見舞いを申し上げたい。さらに、震災に追い打ちをかけるように起こった福島第一原発事故はいまだ終息する気配がみえず、今後の復興には多くの時間がかかることは確実である。

そうした中、留学生の一時帰国が相次ぎ、また4月以降の入学者減も予想される事態に至った。それらの現実により、留学生受け入れや教育が、その国（日本）が安心安全であること等を前提に進められていたという当然のことに改めて気づかされることになった。

一方、世界各国から、レスキュー隊や義援金など多くの人的物的支援が、日本に寄せられたことは嬉しいニュースであり、恒常的な国際交流・支援を双方向的に継続していくことの重要性がまた強く想起されるようになった。

そうした意味において、留学生教育は、多くの実践を重ね、また様々な方面からの研究を深化させ、これまで以上に国際交流・支援活動の中長期的な役割を果たしていくことが一層求められてくるのではないだろうか。本紀要所載の5本は、それらに資する論考であると考えている。

国際教育 第4号 (2011年3月31日 発行)

編集・発行 : 千葉大学 国際教育センター

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

Tel 043-290-2197